

## 第14回HIV/AIDSソーシャルワーカー&看護師ネットワーク会議、研修会開催報告

エイズ医療対策室 精神保健福祉士 村上英子



今年度は久しぶりに地元広島で、中国四国ブロックエイズ拠点病院のソーシャルワーカー（以下、SW）と看護師を対象にした会議と研修会を開催しました。会議では各病院での取り組みを報告して頂きました。その中でも長期療養先の開拓方法について多くの関心が寄せられました。各病院でも、施設訪問した際にHIV陽性者の受け入れ意思の確認、受け入れ施設へのフォローなどの工夫がされていました。

また、血友病の治療薬だった非加熱血液製剤を使用したことでHIVに感染した方々への支援（薬害HIV感染被害者支援）について、国立国際医療研究センター（ACC）の田沼順子先生から丁寧に説明をして頂きました。今後は、希望のあった患者さんについて、支援団体とエイズ拠点病院が各関係機関と連携を取りながら、患者さんを支援する体制を築いていく必要があります。

翌日の研修会では、エイズ拠点病院の参加者以外にも一般病院のSWや広島県内の障害者就労支援関係者など合計70名と『HIV陽性者の就労支援』について熱く語り合いました。まず、当院輸血部の藤井輝久先生にHIVの基礎知識を、大阪医療センターのSW岡本学さんには実際に携わった就労支援について熱くご講義頂きました。講義からHIV陽性者の支援の現状を学び、社会の中で取り組まれている支援の仕組みを理解した上で私たちにできることを考えました。



本来は、本人の能力が十分に発揮できる職場環境であれば、周囲はその人の能力を認め本人もやりがいを持ち続けることができます。しかし、HIV陽性者を働きにくくしているものには、HIVに対する偏見やプライバシーの問題等があり、それによって就労に対する意欲を減退させてしまっている現状があります。このようにHIVが就労を邪魔するものであってはいけません。この現実を知り、陽性者の気持ちに寄り添うことから支援は始まります。これを基本に置くことで社会にHIVに関する正しい情報を発信することの必要性と、本人の能力に焦点を当てた支援ができると感じました。

参加者からも「HIVの就労支援は特別だと構えていたが、患者本人が何をしたいのか、何ができるかを共に見つける支援をしていきたい」との声を頂きました。社会で自分らしく働くために、私たちにできることを今日から始めたいと思います。







# INFORMATION



## 新メンバー紹介

薬剤部 秋月 萌

今年よりHIVチームに加わりました秋月と申します。ACC（国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・開発センター）にて2年間、薬剤師レジデントをしていました。入院患者や外来患者の薬物療法に関わり、これからもHIV感染症に携わりたいと思っていましたため、またHIV診療に携われることを嬉しく思います。

趣味はマラソンや登山など体を動かすことです！これからよろしくお願いいたします！



## アイセントレス600mgが発売になりました！

アイセントレス400mgが600mg製剤となり、1日1回（1回2錠）での内服が可能になりました。同成分ですが、服用方法が異なりますのでご注意ください。

### ●基本情報

- ・一般名（成分名）：ラルテグラビル
- ・略名：RAL
- ・分類：インテグラーゼ阻害薬

### ●服薬方法

- ・1回2錠を1日1回
- ・保管方法：室温

### ●主な副作用

- ・悪心、頭痛、不眠症

### ●注意事項

- ・毎日決まった時間であれば、食事に関係なく服用できます。
- ・ミネラル（マグネシウム、アルミニウム等）を含むサプリメントは本剤の効果が減弱する可能性がありますのでご注意ください。





# エイズワーキンググループから公開学習会のお知らせ

エイズワーキンググループでは、中国・四国エイズブロック拠点病院として、院内HIV/AIDSに関する看護実践能力を高めることを目標に、毎年院内研修会を企画しています。

今年度は、輸血部助教の山崎尚也医師にHIV/AIDSの基礎知識についてご講義いただく公開学習会を企画致しました。山崎医師のご講義はいつも分かりやすく、また、ユーモアに溢れた楽しい講義です。今回の学習会ではクイズ形式となっていて、より楽しくHIV/AIDSに関する知識を取得できるチャンスです！全職員対象の学習会なので、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、その他の職種の方々のご参加も大歓迎です。この機会に是非奮ってご参加下さい。

日時：平成30年12月17日（月） 17:30～18:30  
会場：臨床管理棟3階 1・2会議室  
申し込み締め切り：平成30年12月10日（月）

## エイズワーキング公開学習会

### HIV・エイズの基礎知識

～HIV・エイズのことをもっと知ろう！！～

12月1日は世界エイズデー。  
エイズのこと、一緒に考えてみませんか？

日時：平成30年12月17日（月）  
17：30～18：30

会場：臨床管理棟3階 1・2会議室

対象：全職員



講師：山崎 尚也医師  
輸血部助教

受講者参加型のクイズ形式で楽しく学べる研修内容を企画しています。



沢山の方々のご参加をお待ちしています！



# 世界エイズデー：イベント検査@広島

12月1日は「**世界エイズデー**」です。

「世界エイズデー」は、エイズのまん延防止と感染者に対する差別・偏見の解消を目的にWHOが1988年に制定したもので、各国でエイズに関する啓発活動が行われています。日本でも毎年、音楽イベントやチャリティ活動などが行われています。

HIV/AIDSの象徴として“レッドリボン”が用いられています。これは、HIV/AIDSの理解と追悼の気持ちを示すために使用され始めました。

レッドリボンは、エイズに対して偏見を持っていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージにもなります。

広島では、12月8日（土）に八丁堀のアリスガーデンで、HIV/AIDSに関するイベントやおそろ検診クリニックで無料のHIV検査も行います。

イベントを通して、少しでも多くの人にHIV/AIDSを正しい理解につなげられると思います。

